



Tottori Pref.

東日本大震災 避難者等総合支援チーム会議

日時：10月26日（金）午後1時30分～
場所：災害対策本部室（県庁第2庁舎3F）
各総合事務所

次 第

I あいさつ

II 議事

- (1) 東日本大震災に伴う県内避難者に対する
これまでの支援状況**
- ・ 取組、成果
 - ・ 今後の対応

- (2) 東日本大震災避難者定住支援の今後の取組**

III その他

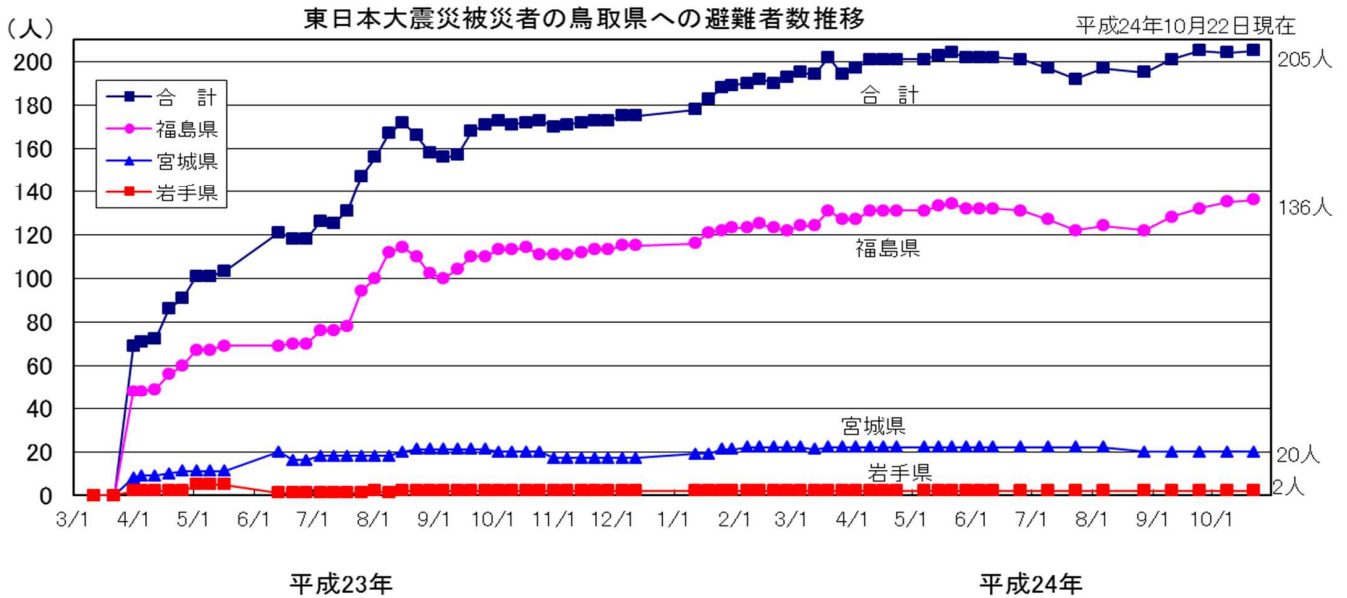
避難者の受入れ状況

◆現在の本県への避難者数

88世帯 205人（平成24年10月22日時点）

※県内への避難者数は、H24.9.24時点及び現時点が最大（205人）

◆避難者受入経過



避難者の受入れ状況

◆市町村における受入状況（平成24年10月22日現在）

（単位：人）

| | 鳥取市 | 米子市 | 倉吉市 | 境港市 | 若桜町 | 三朝町 | 湯梨浜町 | 琴浦町 | 北栄町 | 大山町 | 南部町 | 伯耆町 | 日南町 | 江府町 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 岩手県 | | 2 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 宮城県 | 9 | 4 | 3 | 3 | | | | | | | | 1 | | | 20 |
| 福島県 | 78 | 22 | 7 | 4 | 2 | 3 | | 3 | 4 | 4 | 5 | | 4 | | 136 |
| 茨城県 | 5 | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | 8 |
| 栃木県 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 千葉県 | 14 | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | 19 |
| 埼玉県 | 5 | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 東京都 | 9 | 3 | | | | | | | | | | | | | 12 |
| 神奈川県 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 計 | 123 | 33 | 10 | 7 | 2 | 6 | 1 | 3 | 4 | 4 | 5 | 1 | 2 | 4 | 205 |

※岩美町、智頭町、八頭町、日吉津村、日野町は避難者の受入れなし

避難者の受入れ状況

◆住宅区分別入居状況(平成24年10月22日現在)

| 区分 | 県受付分 | | | | 市町村営住宅 | 民間住宅 | 空き家 | 親戚宅外 | 雇用促進住宅 | 計 |
|------|------|-------|-------|-----------|--------|------|-----|------|--------|-----|
| | 県営住宅 | 県職員住宅 | 教職員住宅 | 民間住宅(県借上) | | | | | | |
| 避難者数 | 53 | 5 | 1 | 8 | 30 | 31 | 17 | 57 | 3 | 205 |
| 世帯数 | 19 | 3 | 1 | 3 | 14 | 15 | 6 | 26 | 1 | 88 |

◆公立学校において受け入れている児童・生徒数(平成24年5月1日現在)

| 区分 | 受入人数(人) |
|------|---------|
| 小学校 | 21名 |
| 中学校 | 4名 |
| 高等学校 | 6名 |
| 計 | 31名 |

これまでの取組状況・成果(避難者関係)

| 支援内容 | 取組内容・成果 | 今後の予定 |
|------------------------------|--|--|
| 東日本大震災避難被災者生活支援金の支給(福祉保健課) | ・H23年4月14日から受付 ・支給実績 95件22,300千円(H24年9月末時点) | ・H25年度も継続して実施の予定(H25当初予算要求予定) |
| 被災者支援のための寄附金の募集(福祉保健課) | ・受付実績 36,336千円(H24年9月末時点) ・H24年10月からインターネットでのクレジットカード決済による受付を開始 | ・継続実施 |
| 福島県からの避難者への内部被ばく検査の実施(医療政策課) | ・H24年5~6月にかけて東中西部の3箇所を実施(検査実績:34人) ・身長等が要件を満たさない子どもの検査については、広島大学と調整中 | ・小さな子どもの検査について、広島大学との調整後(現在、検査中断中)、実施。 |
| 子供の心のケアの実施(青少年・家庭課、教育委員会) | ・福祉相談センター、児童相談所での相談対応が可能なことを周知(実績なし) ・スクールカウンセラーによる被災児童・生徒の心のケアの実施(各学校で対応) | ・継続実施 |
| 県営住宅等の提供(住宅政策課) | ・県営住宅の入居機関を1年から2年に延長(H24年3月26日) ・厚労省、被災県からの依頼により応急仮設住宅の供与期間を最長3年に延長 ・市町村営住宅についても同様 | ・今後の延長、入居期間満了後の対応については今後別途検討する |

これまでの取組状況・成果（避難者関係）

| 支援内容 | 取組内容・成果 | 今後の予定 |
|--|--|--|
| 避難者間の交流支援 (とっとり暮らし支援課) | ・とっとり東北県人会やとっとり震災支援連絡協議会等と連携し避難者の交流を支援 4月 東部地区交流会 6月 東部地区交流会(相談窓口等も設置) 7月 東部地区交流会 9月 県域交流会(芋煮会) | ・継続実施 |
| ミドル・シニア仕事ふらざ における被災者就職支 援(雇用人材総室) | ・震災以降被災者の就職相談に応じており、5月からは 関係機関とより連携した支援体制を整備(東部地区交流 会(6/3)において就職相談を実施) ・就職相談・就職の実績(H24) 相談者2名、就職者1名 | ・継続実施 |
| 県立図書館での被災者 への情報提供(教育委 員会) | ・東北3県の地方紙を購入し、県立図書館、倉吉市立図 書館、米子市立図書館で閲覧 ・宮城県と福島県のタウン誌を購入し県立図書館で閲覧 | ・継続実施 |
| 県立高等学校の入学選 拔手数料、入学料の免 除(教育委員会) | ・H24実績 2件(入学選抜手数料、入学料ともに) | ・対象となる生 徒の実態等を 勘案し、来年度 の実施を検討 |
| 幼稚園、保育所の保育 料、小中学校への学用 品・通学費等の助成(教 育委員会、福祉保健部) | ・幼稚園に就園する幼児に要する保育料の軽減、小中 学校の児童生徒に要する学用品、通学費等の支援、保 育所に入所する児童に要する保育料の減免を実施 | ・継続実施 |

これまでの取組状況・成果（避難者関係）

| 区分 | 対応状況 | 課題・問題点 |
|-------------|--|--------|
| 東部総合 事務所 | ○とっとり震災連絡協議会との共催で6月に東部地区交流会を開催 会場：東部総合事務所1階ロビー／内容：お茶会、合同相談コーナー等 ○避難者交流会や避難者支援イベントの案内等の送付 ○職員による避難者支援チームを設置し、避難者と連絡を取っているが、 特に要望はない | なし |
| 八頭総合 事務所 | ○県民局と町総務課防災担当部門が、管内避難者対応の総合窓口として 連携対応 ○避難者交流会や避難者支援イベントの案内、及び福島県庁からの刊行 物を避難者へ送付する際などに、現在の県へのニーズについて照会して いるが、特段要望は無い ○現在、避難者は就労されているが、県非常勤職員募集案内が県民局へ 配布されれば、その都度郵送している | なし |
| 中部総合 事務所 | ○市町と連携して避難者と面談し、状況、ニーズ等の聞き取り、関係部局と 連携した支援の実施 ○必要な情報提供等の実施(県本部、とっとり東北県人会等からの情報) ○避難者への生活用具の提供 | なし |
| 西部総合 事務所 | ○主催者から招待を受けた地域イベント等についてお知らせし、地域の 方々との交流の機会を提供(米フェスタ等) ○中古自転車の提供等避難者からの要望に対応 | なし |
| 日野総合 事務所 | ○各種の情報提供などの際に、電話あるいは訪問の方法により、ニーズの 聞き取りを行っている ○特段の要望事項なし | なし |

これまでの取組状況・成果（被災地支援関係）

| 区分 | 取組内容・成果 | 今後の予定 |
|---------------------------------|--|--|
| 石ノ森萬画館 (石巻市)の支援 (西部総合事務所) | <p>国際まんが博とっとりまんがドリームワールドにおいて「REVIVAL萬画の国いしのまき展(東日本大震災復興応援企画)」を展開(H24.8.4～H24.11.11の間、鳥取、倉吉、米子で順次開催)</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で壊滅的被害を受けた石ノ森萬画館に贈られた有名マンガ家の応援メッセージや、石ノ森先生の作品などを展示 ・募金箱の設置 ・オフィシャルショップ内にて石ノ森萬画館のキャラクター商品などの物品販売 | <p>国際マンガサミット鳥取大会での石ノ森萬画館の復興支援</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サミット(国際会議)で「マンガと地域経済効果」をテーマしたシンポジウムにおいて石ノ森萬漫画館の関係者を招待。「復興に向けた取り組み」の発表をしてもらい、復興の動きを国内外にアピール ・会場にメッセージボードを設置し、漫画家をはじめ来場者に応援メッセージを記載していただく ・罹災状況のパネル展示 ・石ノ森萬画館のキャラクター商品などの物品販売 ・募金箱の設置 ・メッセージ及び募金はサミット閉会后に石ノ森萬画館に送付 |

これまでの取組状況・成果（被災地支援関係）

| 区分 | 取組内容・成果 | 今後の予定 |
|-----------------------|---|--|
| 被災地への職員派遣(県)(人事企画課) | <ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合と連携し、カウンターパート方式により宮城県へ土木技師等8名を派遣(10/1現在) ※災害応援隊や被災地復旧のための職員派遣など、現在まで延べ653名を派遣 | <ul style="list-style-type: none"> ・被災県の要請に応じて対応 |
| 被災地への職員派遣(市町村)(自治振興課) | <ul style="list-style-type: none"> ・被災県から全国市長会、町村会を通じて依頼されている被災市町村へ職員派遣について、県も各市町村に対し協力を要請 →4市を個別に訪問し依頼、課長会議において全市町村に対して協力依頼、職員派遣に係る参考事例を提供など →これまでに3名の職員が被災地に派遣(南部町・日吉津村から南三陸町へ各1名、鳥取市から郡山市へ1名) | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き来年度の派遣も含めて、各市町村に対して協力を要請する (参考) 11月15～16日、南三陸町長がお礼のため来県予定 |
| スクールカウンセラーの派遣(教育委員会) | <ul style="list-style-type: none"> ・石巻市の小中学生の心のケアを行うため、H23年度に引き続き継続派遣(5月～3月 計7回) ・H25年度も2ヶ月に1回(1週間)程度派遣予定 | <ul style="list-style-type: none"> ・被災県の要請に応じて対応 |

東日本大震災 避難者生活再建支援事業

とっとり震災支援連絡協議会

2012/10/26

事業の背景…県内における支援の実態

東日本大震災が発生してから1年余りが経過した。わが鳥取県にも様々な形で被災地等から避難してきている人が居住している。この人たちの中には定住を希望する人たちも少なくない。しかしながら、「避難者の全容」「避難者のニーズ」は包括的な集約がなされていないのが現状である。

また、避難者の「移住」「定住」の隘路となっている「鳥取の居住環境情報」「就労情報」「就学情報」等が充分に行きわたっていない。

さらに、鳥取県民の中にも様々な形で避難者等への支援を行いたい「思い」をもっている人たちが数多く散在している。この人たちにも、支援の具体的方策、所謂、「支援の形・やり方」が情報提供できていないのが現状である。

また、被災地等から積極的に訪鳥する仕組みがないことも挙げられる。放射能汚染のなか、外で自由に遊べない子どもたちや、避難したいが避難先を訪ねてみる術のない人たち、を積極的に受け入れる「仕組み」がないのが現状である。

事業目的

- ① 支援全般をコーディネートすることのできる人材を養成する(常勤雇用による継続的支援の仕組み作り)。
- ② 避難者のネットワークを構築する。また、避難者に対して鳥取県内で安心して暮らすための様々な支援を行う。
- ③ 県内の支援者をネットワーク化し支援体制を整備し、具体的支援策を提供する。
- ④ 被災地からの訪鳥者を積極的に受け入れる仕組みを構築する。またそのためのイベントを開催する。
- ⑤ 被災地で支援活動を行っているNPO等団体と連携する。

*** 以上の5つを目的とし、県民の力を結集し、継続的且つ包括的に支援活動を行う。**

2012/10/26

事業内容①

支援コーディネーター及びマネージャーの雇用

内容; 支援コーディネーターを(常勤雇用2名)、コーディネーターの指導管理及び事業遂行のための企画立案・運営管理のための事務局マネージャー(事務局長レベル)を雇用し、上記目的(①～⑤)達成のためのスキルを身につけつつ実務を遂行する。

計画; 支援コーディネーターの常勤雇用【25年1月より雇用; 2名雇用で時間または曜日によってワークシェアする。基本的に避難者の中から雇用する予定。

事務局マネージャーの雇用(1名)【25年4月より雇用予定】

雇用者の執務場所はNPO法人KiRALiとし、KiRALi内のインフラを活用するものとする

体制; 支援コーディネーターの雇用及び研修・活用【とっとり東北県人・NPO法人KiRALiによって行う】

事業内容②情報交換会・交流会等の開催

- * 避難者のネットワーク構築と避難者の困りごとなどのニーズの把握をリアルタイム行う
- * ニーズ把握のための情報交換会・交流会を、東部・中部・西部でそれぞれ行う(12回以上)
- * 交流会などに来ない、来れない避難者についてはコーディネーター・マネージャーが自宅を訪ね関係を構築しつつ情報収集を行う

2012/10/26

事業内容③支援者ネットワークの構築

- ・ 県内の支援意志を持つボランティア希望者のニーズを把握しそのネットワークを構築する
- ・ 支援者は、個人・企業・団体を対象とする
- ・ 支援者のネットワーク構築のため、支援者連絡会議を2ヶ月に1回程度開催する
- ・ 支援希望者への呼びかけは、webサイト・SNS・パブリシティ等を用いる

事業内容④被災地訪問

- ・ 被災地の現状をリアルタイムに把握し、現地の行政・市民団体等との情報交換を行う
- ・ サマーキャンプ(後述)の参加希望者の募集・取りまとめなどのため、行政・市民団体等と協議打ち合わせを行う
- ・ 更に避難を希望する被災者のニーズ等の情報収集を行う

2012/10/26

事業内容⑤被災地のNPO等団体との連携

福島県内で「ふくしまインドアパーク」を経営するNPO法人フローレンス、福島・宮城・岩手で「子どもたちへの学習支援」を行うNPO法人カタリバ、被災地の子どもたちへ「絵本を提供」する活動をするNPO法人ファザーリングジャパン、被災地の父子家庭を支援するNPO法人全父子連等の団体と連携を密に保ち、相互に情報の提供・被災地での一部活動の助力等を行う

事業内容⑥サマーキャンプ

- ・「鳥取体験サマーキャンプ」の開催【夏休み期間中に、智頭町内の廃校となった小学校(那岐小学校を想定)を使用し、智頭町教育委員会・八頭県民局・地元団体・企業等と連携し、福島県を中心とした被災地等から子どもたちの心身の解放と「鳥取体験」を目的として4泊5日程度のキャンプを開催する(智頭町滞在は3泊、中部に1泊滞在の予定)。具体的な開催要旨は、貸切バスによる送迎(福島県発着)・鳥取県内各所の訪問(鳥取市・倉吉市・琴浦町・大山町・米子市等)・地元小中学生との交流・地元大学生との交流等々。参加者は基本的に小学3年生～6年生(50名程度)とし、希望者は保護者同伴の元それ以下の年齢(未就学児童)も可能とする(保護者と子どもで50名程度を想定。小学生は無料、同伴保護者は交通費のみ実費負担)。

2012/10/26

事業内容⑦

活動資金調達のためのファンドレイジング

- ・支援を中長期的に継続していくための資金を「ファンドレイジング」(寄付)のよって調達する。
- ・県民個人はもとより県内外企業への予備かけも行う
- ・手法としては「クラウドファンディング」を中心に、戸別訪問による寄付呼びかけも行う(主に企業)

県及び市町村との連携

- ・ とっとり震災支援連絡協議会が、避難者のニーズ把握・収集・整理を行い、県及び各市町村の支援窓口（県ならば総合支援チーム）へ情報提供・支援要請を行う
- ・ 協議会の独自事業に対しては、県及び市町村に側面支援を要請する

2012/10/26